

## 令和4年度第1回川西町高齢者福祉・介護保険運営協議会における議事の結果

### 1. 第1回川西町高齢者福祉計画及び介護保険事業計画推進委員会

議事内容：(1) 川西町の現状と地域分析について

#### 委員からのご意見及び事務局回答

##### (ご意見)

川西町の介護保険サービスの利用状況について、施設依存というのが顕著に表れていますが、事務局はこの傾向というのはどのように分析されていますか。

##### (回答)

本町は以前から施設依存に傾いているところではあります。施設の内訳ではまず、特別養護老人ホームに入所されている方が給付費で見た場合に多くなっています。その次に、介護老人保健施設ですが、要介護1・要介護2の方も利用されているというところで、比較的軽度の方の利用もそれなりにあると見ています。ただ、全体的に見た場合に、介護保険施設の3施設以外の特定施設、有料老人ホームなどを指しますが、近隣の市町村と比較すると有料老人ホーム・グループホームの利用が割に多いと思われれます。奈良県と比べるとほぼ同じにはなっていますが、この地域は在宅よりも施設向きで、同居家族の方が割といると思われれますが、働いておられたり、看られなくなってきたり、そして働いていても安心してというところで施設の利用が多くなっていると考えられます。

##### (ご意見)

特別養護老人ホーム、施設を利用されている方が多いということですが、実際入りたいと思ったときにすぐ入れるような状況なのでしょうか。一般的には施設に入るのになかなか空きがないと聞きますが、川西町の場合は割と余裕があるということなのでしょうか。

##### (回答)

特別養護老人ホームの待機者調べではだいたい10名くらいが待機しているとなっています。年度によってぶれがあり、10名から18名くらいの待機で年度によって数値は異なります。川西町内にはゆいの里あすかがあり、川西町以外にも特別養護老人ホームができており、奈良県の方で整備が進んでいますので、以前よりは入りやすくなっているように感じています。ただ、比較的利用料が安い多床室についての特別養護老人ホームについては大変長く待たれている方もあると聞いています。利用料の高いユニット型は、ある程度待てば入所されているというような状況であると思われれます。

## 2. 第1回川西町地域包括支援センター運営協議会

議事内容：(1) 川西町地域包括支援センター事業報告及び収支決算報告について

### 委員からのご意見及び事務局等回答

#### (ご意見)

在宅医療支援相談窓口が国保病院に開設されたということで、入院された方の退院が決まって在宅に戻られるときにスムーズに医療や介護を受けられるような支援と思えますが、状況について教えていただけますか。

#### (回答)

毎月集計しており、入院患者もしくは外来の患者さん・家族も含めて、いろんな相談をしています。コロナ禍になるまでより、逆にコロナ禍になってからのほうが患者さんの面会ができないため、家族からの相談が大幅に増えており、窓口相談が多くなっているという状況です。今までは入退院患者の退院調整をする相談窓口がほとんどでしたが、最近では患者さんの状況確認など、いろいろな意味で施設の相談がかなり増えてきている状況です。

#### (ご意見)

令和3年から、包括支援センターが直営になり相談もしやすくなったということで相談件数も非常に伸びてよくなったと感じています。一方でコロナの影響で令和2年3年の事業が中止になり、高齢者の方も外に出る機会がかなり減ってきており、今後フレイル予防するためにも保健事業と介護予防の一体化事業を、令和6年度までに市町村は実施しなければならないということがうたわれています。地域包括支援センターと国保部門と保健センターの3つの部署が何か連携して一体化事業を進めるような取り組みは始まっているのでしょうか。

#### (回答)

今現段階ではまだ話し合いはできてない状況です。以前、介護と保健センターと障害福祉と国保分野で情報交換していましたが、コロナの予防接種が始まってから保健センター職員の業務が多忙となり、情報交換の場が持てていないというのが現状です。

令和6年度からというのは認識しておりますので、組織体制も含めて検討してまいりたいと思っております。